

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2024年7月～9月期

第114回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和6年4月～6月比
 - (2)前年同期比 令和5年7月～9月比
 - (3)来期見通し 令和6年10月～12月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	116社
回答率	23.2%

(業種別)

製造業	35社
建設業	29社
卸売業	5社
小売業	23社
サービス業	24社
合計	116社

(2) 調査対象月

2024年7月～9月期

(3) 調査依頼期間

2024年9月19日(木) ～ 2024年10月11日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

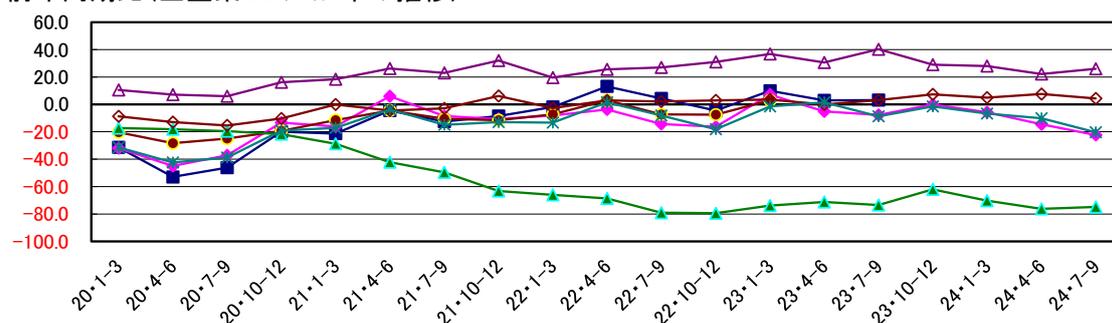
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



	20・1-3	20・4-6	20・7-9	20・10-12	21・1-3	21・4-6	21・7-9	21・10-12	22・1-3	22・4-6	22・7-9	22・10-12	23・1-3	23・4-6	23・7-9	23・10-12	24・1-3	24・4-6	24・7-9
■ 売上	-31.4	-52.9	-46.2	-19.9	-21.4	-4.4	-12.4	-8.4	-1.8	13.1	4.3	-4.4	9.9	2.9	3.1	6.7	0.82	-1.52	-15.5
◆ 採算	-32.0	-44.9	-37.1	-13.3	-16.0	5.9	-8.4	-10.7	-8.1	-3.7	-14.3	-16.3	7.1	-5.1	-7.8	0.0	-5.74	-14.5	-22.4
● 資金繰り	-20.3	-28.3	-25.0	-19.4	-11.5	-4.4	-10.5	-11.5	-7.3	3.0	-7.2	-7.5	2.9	0.7	-6.2	3.0	-4.17	-5.38	-14.8
▲ 仕入価格	-17.2	-18.1	-19.5	-21.6	-28.7	-42.2	-49.6	-63.3	-66.1	-68.6	-79.1	-79.4	-73.8	-71.3	-73.4	-61.9	-70.2	-76.34	-74.8
△ 雇用状況	10.5	7.2	6.0	16.2	18.3	26.3	23.1	32.0	19.6	25.5	27.1	31.1	36.9	30.7	40.3	29.1	28.1	22.14	25.9
◇ 設備投資	-8.6	-12.9	-15.4	-10.3	0.0	-4.4	-2.8	6.2	-2.7	2.9	2.2	2.9	3.5	0	3.1	7.4	4.959	7.63	4.3
* 業況	-31.4	-42.4	-38.8	-19.1	-17.2	-3.7	-14.9	-12.9	-13.4	1.5	-8.1	-18.2	-1.5	1.5	-8.7	-1.5	-6.67	-10.08	-20.4

3. 概況

(1) 今期の特徴

今期は、一部の業種で好転を示すDI値が見られた一方で、依然として仕入価格上昇や人手不足が影響を及ぼし、企業の経営環境が厳しい状況が見られた。一方でサービス業においては、夏休み期間の影響で売上DIの増加が見られた。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、年末に向けて各業種需要が高まり、売上DIが増加する見込みだが、昨年から続く原材料・仕入価格の高騰を心配するコメントが多く見られた。外部環境の不確実性から投資に慎重になるという事業所も見られた。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費の増加」、3位「従業員の不足」、5位「熟練技術者(従業者)の不足」という結果になった。

(4) 今後の対応策

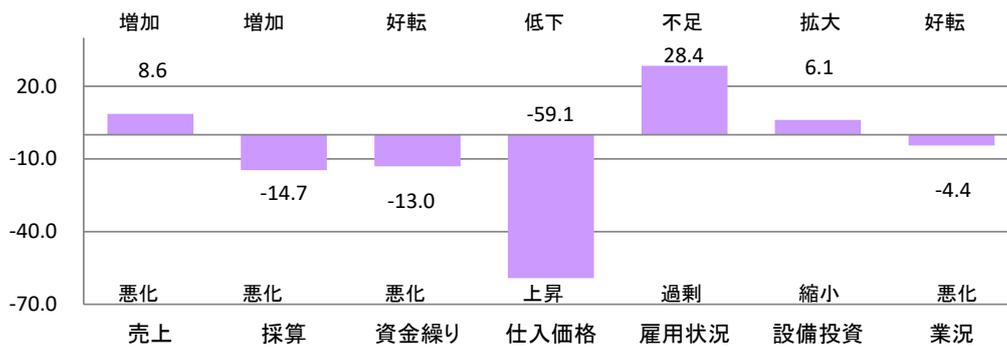
1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「その他の合理性を実施したい」、4位「新規市場を開拓したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

(5) 総括・分析

一部業種では売上DIの増加がみられるものの、仕入価格上昇や人手不足が経営に大きな影響を与えている。特に製造業の前年同期比は他業種に比べて大きくマイナスを示す結果となっている。

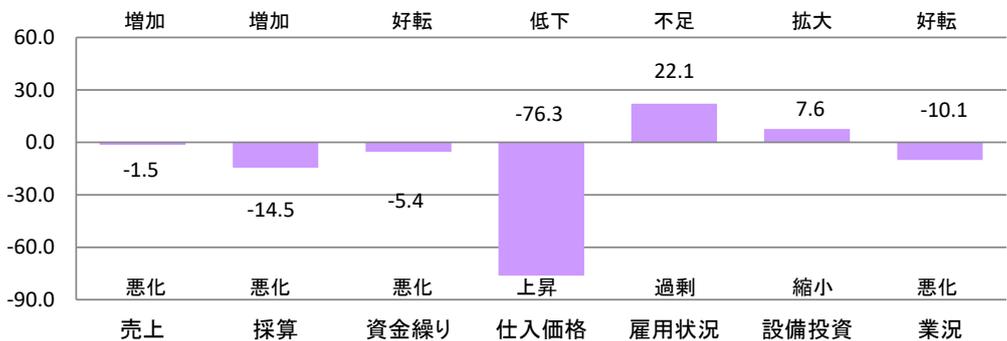
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比 令和6年4月～6月比



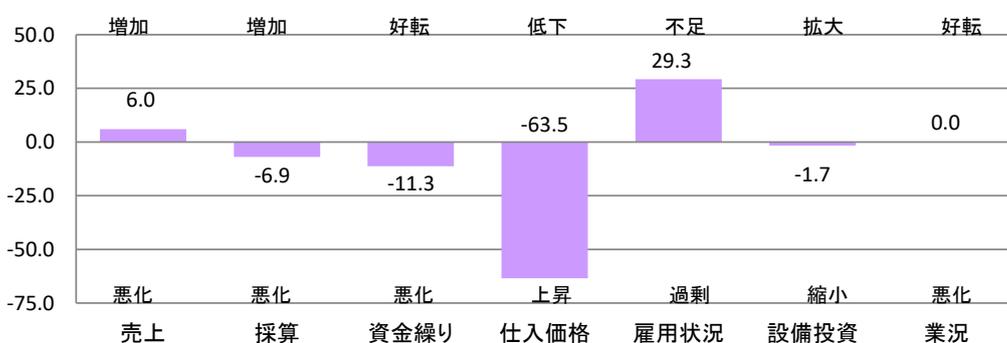
前期と比較すると、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。建設業とサービス業においては売上DIの増加が見られたが、それ以外の業種においてはマイナスと判断する事業所が多く見られた。また、仕入価格の上昇について心配するコメントが多く見られた。

前年同期比 令和5年7月～9月比



前年同期と比較すると、売上DIはわずかに悪化、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。特に製造業においては、多くの項目でマイナスを示す結果となっている。

来期見通し 令和6年10月～12月見通し

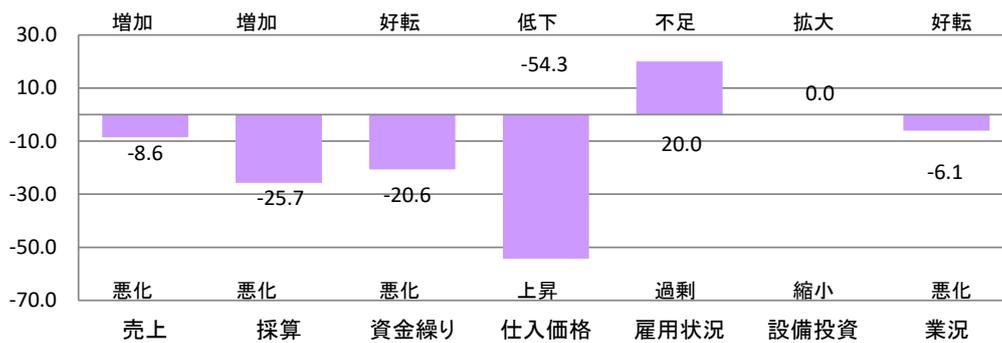


来期の見通しは、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに縮小、業況DIは0を示す結果となった。売上DIについては、増加を示す結果となっているが、仕入価格DIの大幅なマイナスと人員不足について心配するコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

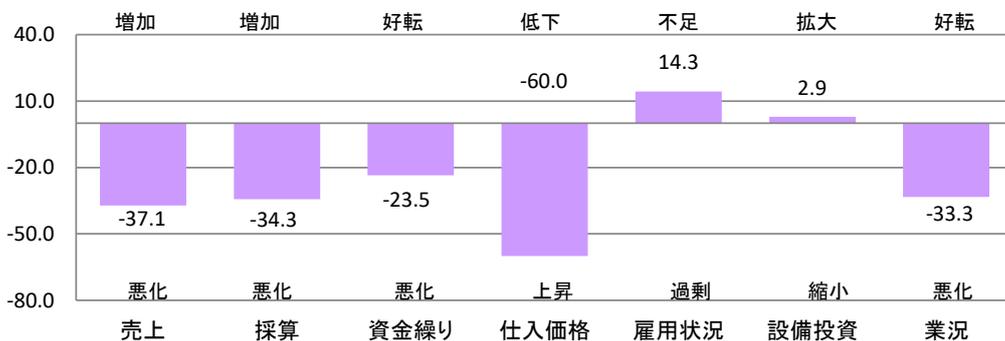
(1) 製造業

前期比 令和6年4月～6月比



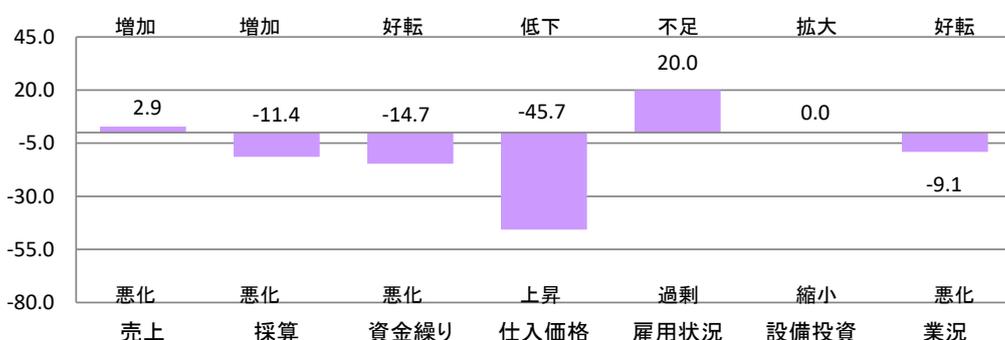
前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIが悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化を示す結果となった。少しずつ受注は増加してきているが、原材料価格の高騰や人員不足などで時間外労働が増えたため、採算が悪化している事業所があった。設備投資を行いたいですが手元に資金がなく、現状維持で精一杯と答える事業所もあった。

前年同期比 令和5年7月～9月比



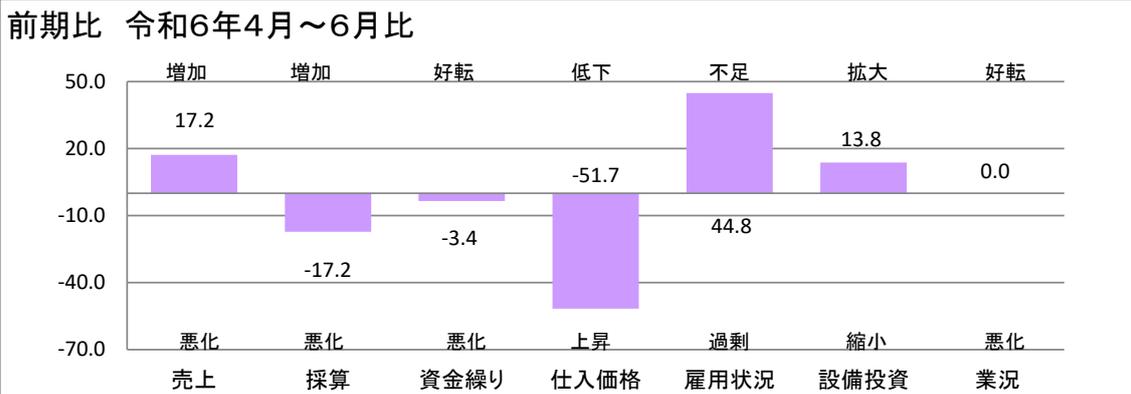
前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIはわずかに拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。製造ラインの増加に伴う売上増となった事業所がある一方で、原材料価格高騰で資金繰りや採算が厳しいと回答する事業所もあった。

来期見通し 令和6年10月～12月見通し

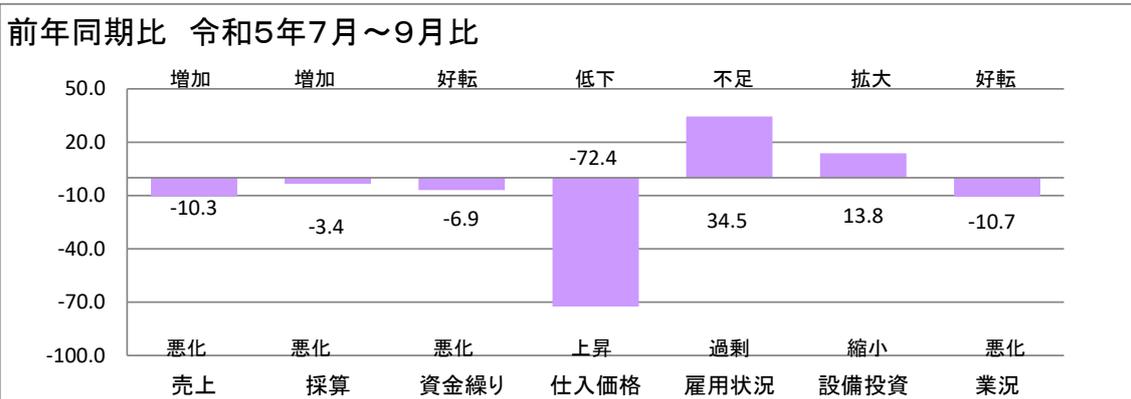


来期の見通しは、売上DIはわずかに増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化を示す結果となった。年末の繁忙期により、売上は増加する見込みだが、原材料価格の高騰により採算は悪化するという見込みの事業所が多く、先行きは不透明とのコメントがみられた。

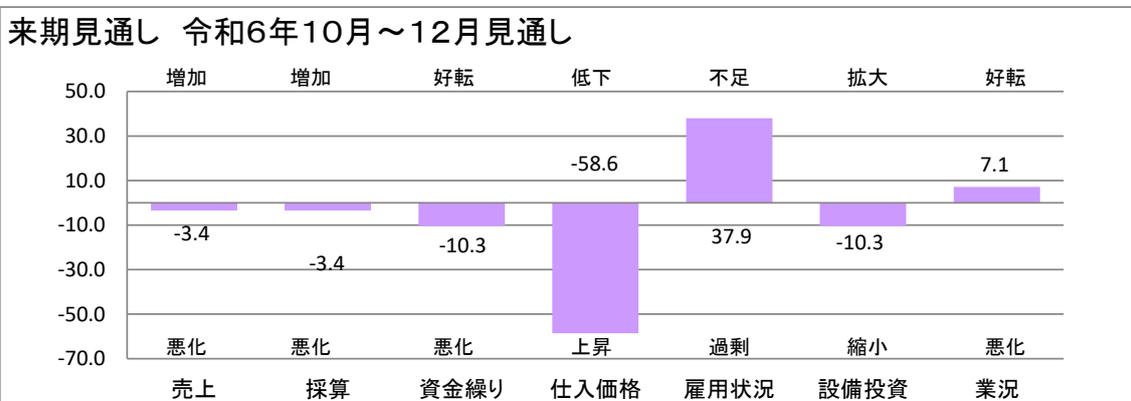
5. 業種別の景気動向 (2) 建設業



前期と比較すると、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0を示す結果となった。建設業においては、時期的に梅雨が明けて工事が滞りなく進む様になった、人件費・資材等高くなっているが公共単価経費率等も高くなってきていると回答する事業所がある一方で、資材高騰・賃上げに伴う経費増加による経常利益の悪化のため、厳しい状況が続いていると回答する事業所もあった。



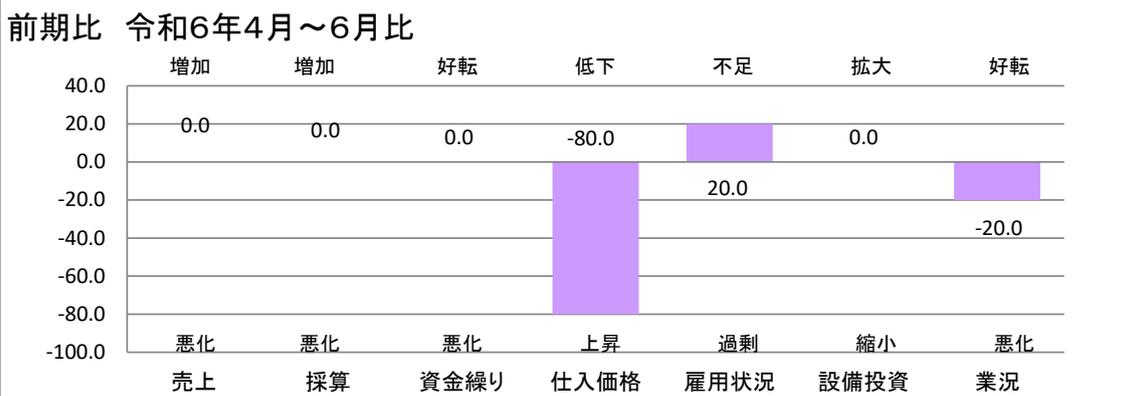
前年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。公共工事の大型案件受注により売上高は増加の見込みであるが、資材、人件費の上昇により経常利益は横ばいと回答する事業所が見られた。



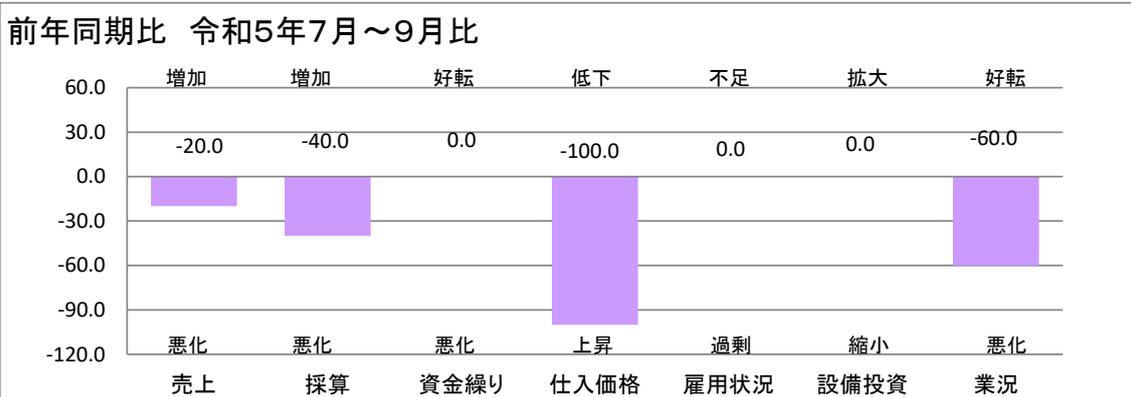
来期の見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転を示す結果となった。来期は、価格転嫁及び仕入価格交渉がうまくいっている事業所も見られる一方で、入札制度改革による受注不振や燃費・材料・人件費の高騰の影響が見られると回答した事業所もあった。

5. 業種別の景気動向

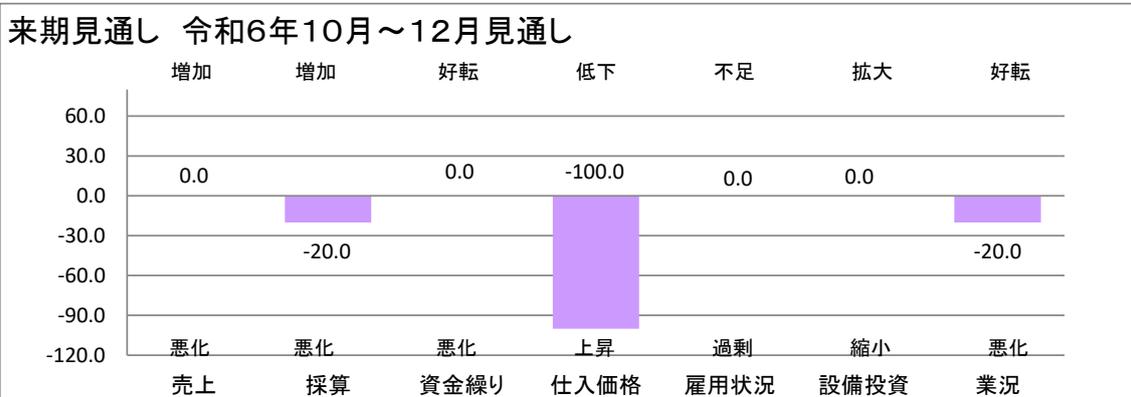
(3) 卸売業



前期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。商品仕入価格の上昇に伴い、受注状況が悪かったと回答している事業所が見られた。



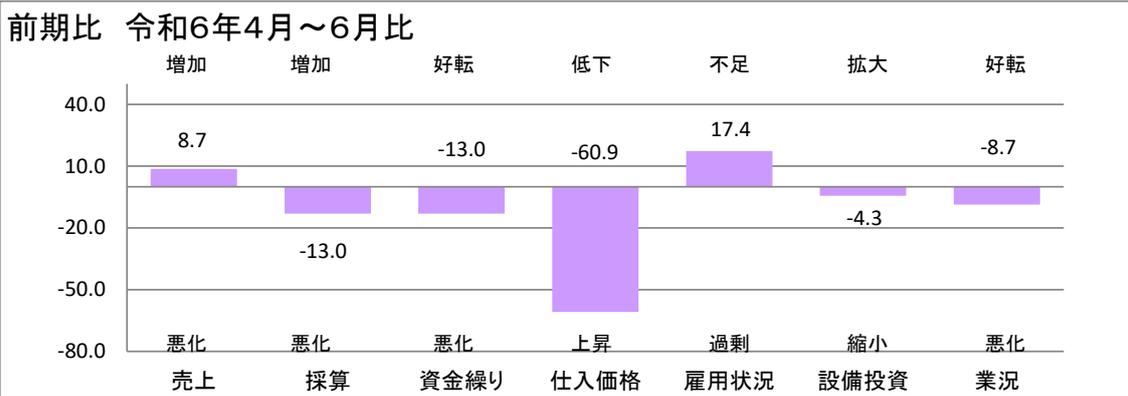
前年同期と比較すると、売上DI、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DI、設備投資DIは0、業況DIは悪化を示す結果となった。物価上昇に伴う価格転嫁が課題とのコメントが見られた。



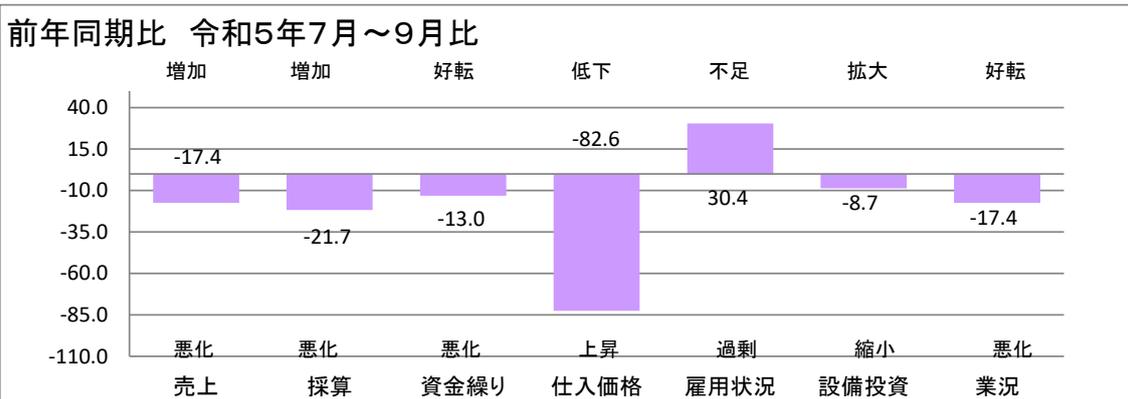
来期の見通しは、売上DIは0、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは0、設備投資DIは0、業況DIは悪化を示す結果となった。年末は繁忙期であるため、売上は増加の見通しを立てる事業所が多いが、好転を見込む明るい要素がないと心配するコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

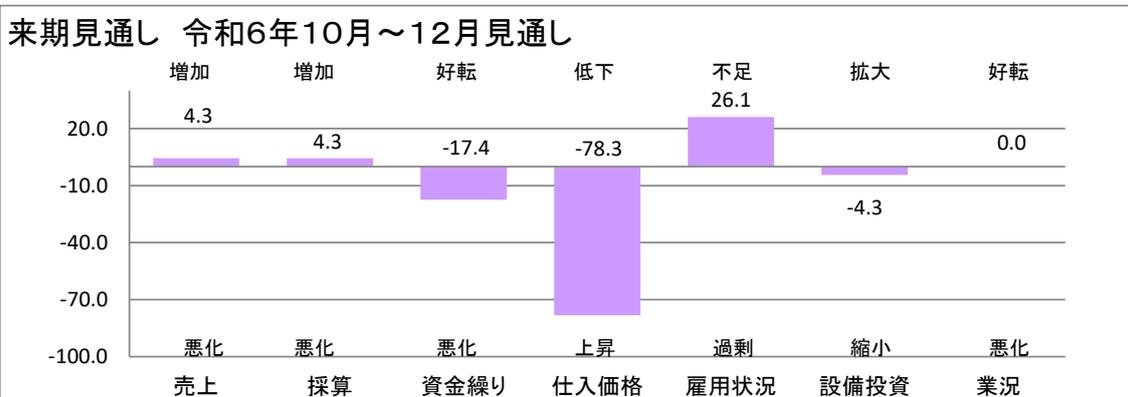
(4) 小売業



前期と比較すると、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化を示す結果となった。高速道路の開通の影響や夏休み期間の影響により好転したと回答する事業所がいる一方で、仕入価格の上昇が続くことを心配するコメントが見られた。



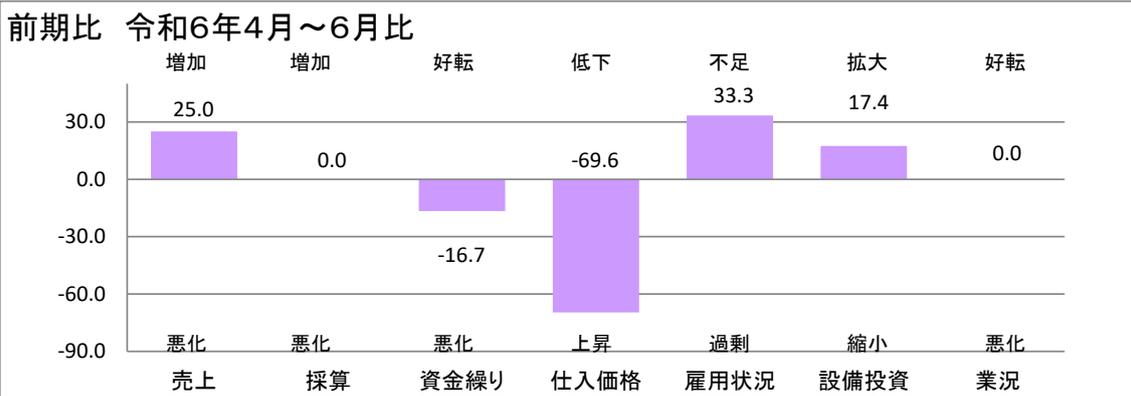
昨年同期と比較すると、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化を示す結果となった。仕入価格が上がり、10月からさらに上がるので、値上げを検討しているというコメントが見られた。



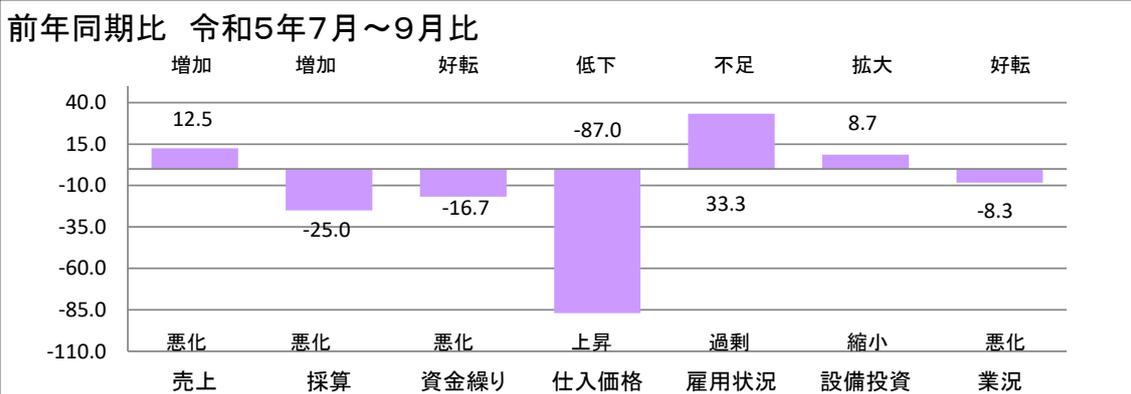
売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは0を示す結果となった。物価高による消費者の買い控えを心配する事業所が多くみられた。また、輸送費の高騰を心配するコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

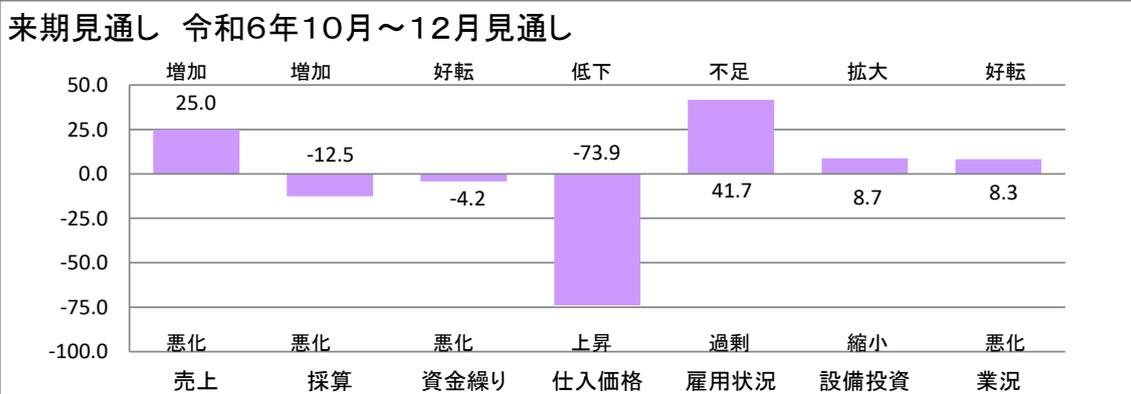
(5) サービス業



前期と比較すると、売上DIは増加、採算DIは0、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0を示す結果となった。売上が増加したと回答する事業所が多く見られた一方で、人員不足の心配をするコメントが見られた。



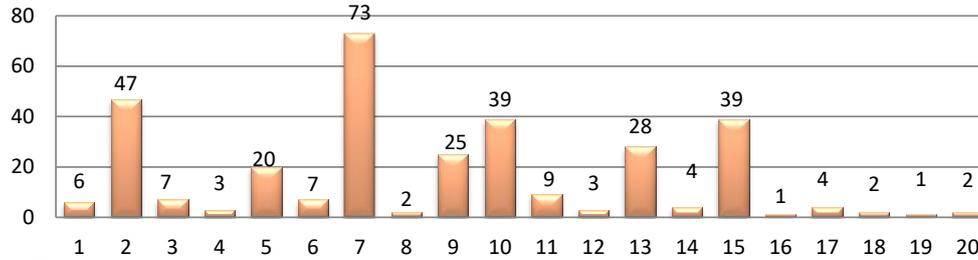
前年同期と比較すると、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは悪化を示す結果となった。正社員の離職を防ぐために、人件費を上げた事業所が見られた。また、燃料費の価格高騰により資材等の価格が数年前の倍近い価格になり利益が得られないとのコメントもあった。



来期の見通しは、売上DIは増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転を示す結果となった。売上増の見込みはあるが、急激な賃上げに対応できず、人員不足の継続を心配するコメントが見られた。

6. 経営上の問題点

全業種



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

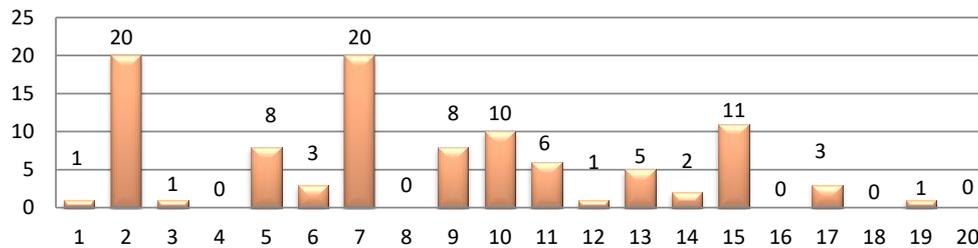
3位 従業員の不足

2位 需要の停滞

5位 熟練技術者(従業者)の不足

3位 人件費の増加

製造業



順位

1位 需要の停滞

4位 人件費の増加

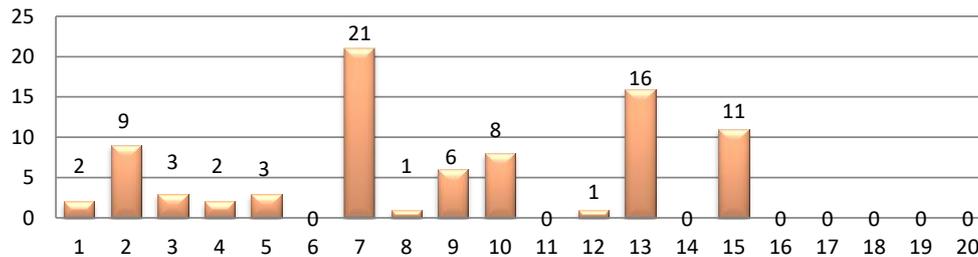
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

5位 生産設備の不足・老朽化

3位 従業員の不足

5位 原材料・人件費以外の経費の増加

建設業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 需要の停滞

2位 熟練技術者(従業者)の不足

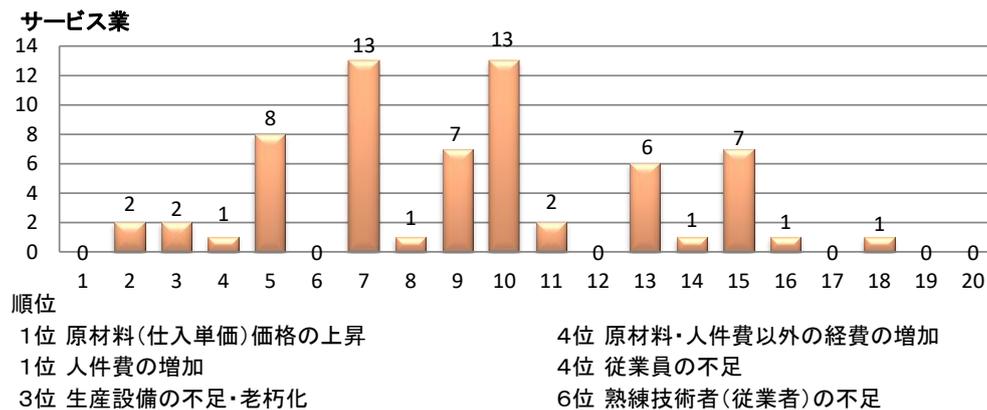
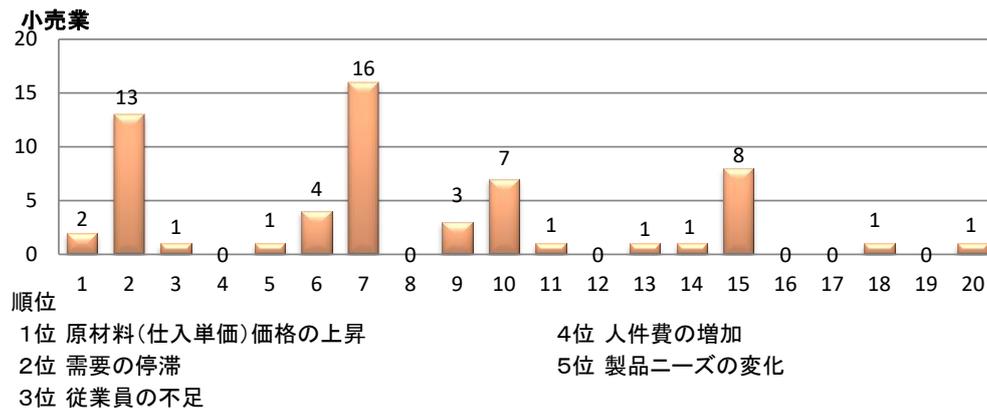
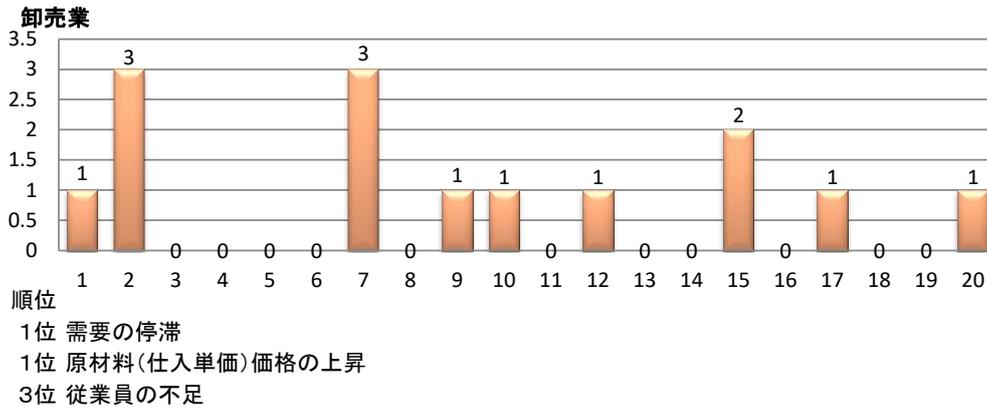
5位 人件費の増加

3位 従業員の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

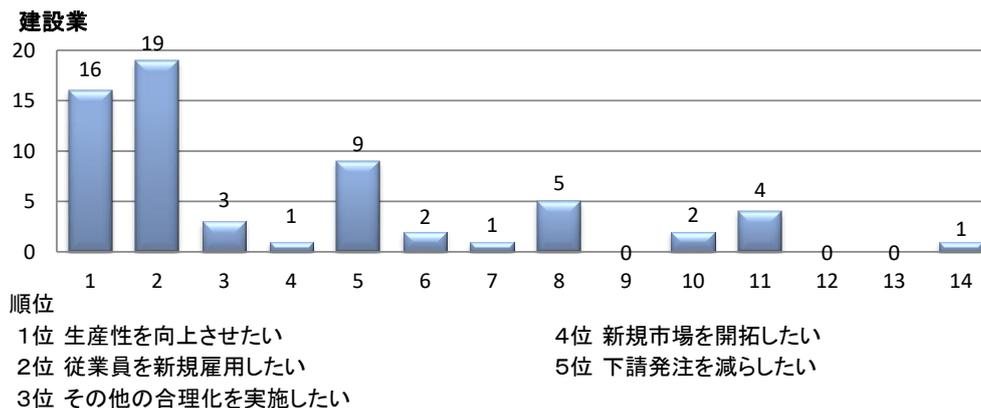
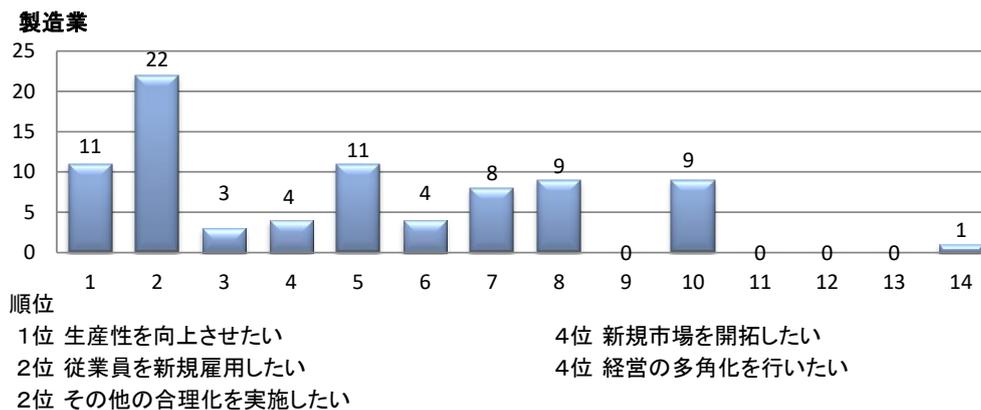
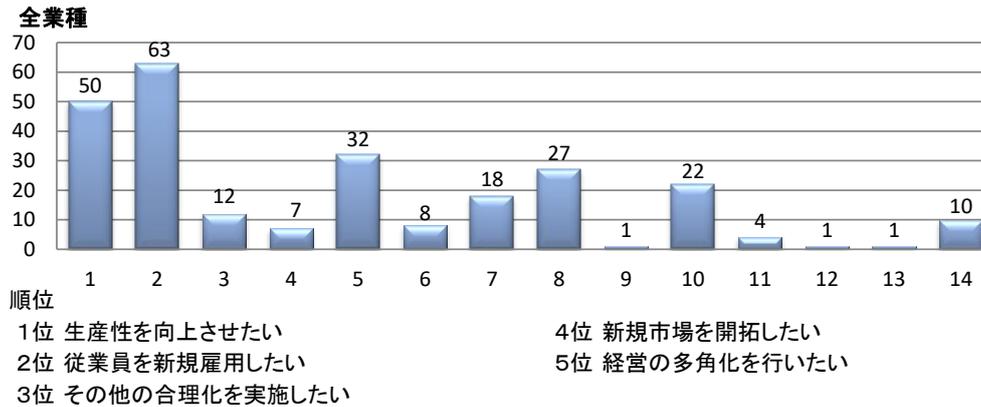
6. 経営上の問題点



【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の不足 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

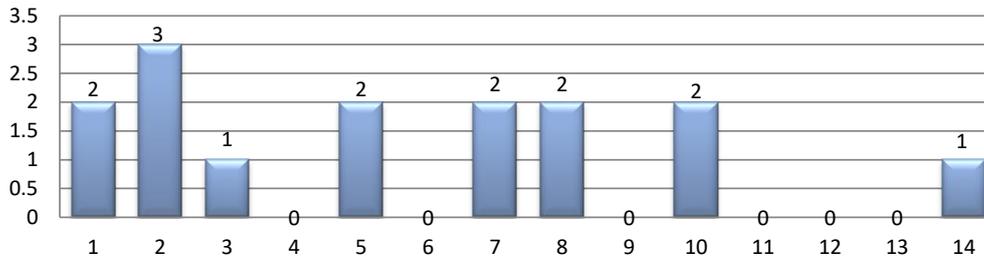


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

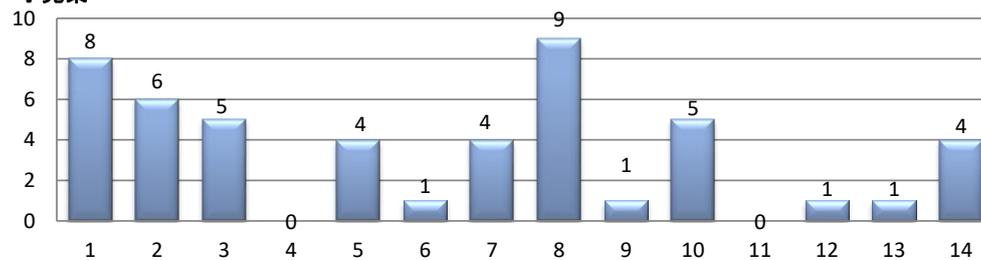
卸売業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 2位 新製品の開発を行いたい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 2位 新規市場を開拓したい |
| 2位 その他の合理化を実施したい | 2位 経営の多角化を行いたい |

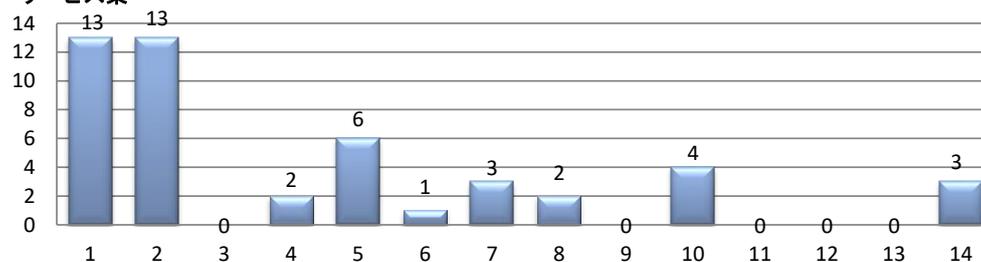
小売業



順位

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 新規市場を開拓したい | 4位 人件費を削減したい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 4位 経営の多角化を行いたい |
| 3位 生産性を向上させたい | |

サービス業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 従業員を新規雇用したい | 4位 経営の多角化を行いたい |
| 1位 生産性を向上させたい | |
| 3位 その他の合理化を実施したい | |

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
小売業	事務機、事務用品 販売	小林	電子帳簿保存法インボイスで業務の負荷は増えている。郵便料金も上昇し経営を取り巻く環境に明るい施策を求めている。
サービス業	タクシー業	小林	中小企業としては円安と人件費(最賃UP)が大きな負担となっている。がんばってもがんばらなくても1,000円/hもらえると云うことが企業の成長をさまたげている。
小売業	石油小売	小林	実効性のある明快な対策を打ち出してほしい。
建設業	建設業	都城	金利上昇による景気後退が見込める為、先に経済対策をしっかりとってほしい
建設業	管・水道施設工事業	都城	減税
製造業	製材・チップ	都城	新築住宅への補助を検討してほしい

小売業	飼料販売	都城	変化の少ない安定した経済発展と財政支援をお願いしたい
サービス業	レンタカーリース	宮崎	コロナ禍は落ち着いてきたものの、物価高の影響により個人だけでなく我々中小企業へも圧迫した状況にある。日本政策金融公庫における資本金劣後ローンの運用見直しや低金利の改定見直しもご検討願いたい。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	台風10号による竜巻により、業務が停滞している。何か具体的な支援を望む。
サービス業	ホテル業	宮崎	地震によるキャンセル損害が大きいため、迅速かつ継続的な集客政策を打ち出して実行してほしい。
製造業	食品添加物製造業	宮崎	製品の流通に関して宮崎を拠点とするメリットを高めてほしい。
製造業	印刷業	宮崎	原材料の高騰は続いており、価格転嫁が厳しい状況。(3か月おきに上昇するため)
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	物価の上昇がすべてに至り、地震や台風10号で発生した竜巻による被害で経験のない被災者が出ている。異常な高温が続き野菜や米の価格も大きく上昇し年金生活者だけではなく生活が厳しい、当然ながら消費に陰りが感じられます。公的支援が必要であると考えます。

製造業	機械金属加工	延岡	最低賃金の高騰で労務費の価格転嫁など製品で、利益が出しづらくなってきています。自社内での効率化を進め努力していく事の必要性があるので、設備投資などの補助をお願いします。
小売業	切花鉢物販売	延岡	今回東京に農林水産省と国会議事堂で話す機会が3回あり、かなり要望は伝わったと思う。
建設業	塗装業	延岡	仕入れ価格や人件費が、毎年値上げ傾向にあるので、どこかで歯止めをかけて欲しい。外国人の技能実習制度の改定で、自動車産業での受入ができなくなっているの、今後受入できなくなると、人材確保が難しくなりそうである。
製造業	電気機械器具製造業	延岡	地方における人材採用支援。都市部への人材流出防止策の強化
卸売業	酒類・食品卸売	日向	現在の物価上昇はいわゆるコストプッシュインフレであり、まだまだデフレが続いている状況。そのため、政府には積極財政を強力に推進してほしい。
サービス業	飲食業	日向	原材料や人件費の高騰が厳しい。働き方改革の見直しは必要(業種別に分けるなど)
サービス業	タクシー業	日向	光熱費、人件費高騰のため現状厳しい状況です。物価高騰を抑えて欲しい。燃料費を下げしてほしい。

建設業	建築一式工事	高鍋	当社でも国の補助金制度の告知はやっているが、まだまだ補助金の事を知らない人が多いため国も助金の告知をメディアを使いやってほしい。
建設業	電気工事業	高鍋	地方をもっと見直して人手不足を減らして欲しい。
サービス業	飲食業	日南	厳しい状況ですが、従業員も含め3人で知恵をしばって今を乗り切ります。前に進むために、とにかくチャレンジ。今は基礎固めだと思います。
小売業	事務用品販売	日南	聞く力を全く持っていなかった前任から、新総理へと変わったので、経済対策の違いに期待したい。 地方活性、中小企業への支援、物価高騰への対策できれば総理は国民で選ばせて頂きたい
サービス業	総合コンサルティング	日南	県に対する要望:補助金を出してほしいという事業者の要望を真に受けたいこと。毎年50円強上がり続ける最低賃金について来れない企業は市場から勇退しやすい環境をつくることに注力してほしい。県の発注もできる限り県内を優先していくことが地域経済の発展につながる。 国に対する要望:法人税は上げて社会保障費を下げるべき。防衛増税もしない。中国の軍事費は日本の防衛費の7倍もあり、ちょっと防衛予算を増やしたところで焼け石に水。 銀行に対する要望:経営者保証をとらないと融資できないような事業の目利きができない銀行も融資市場から撤退してもらいたい。もちろんその分、金利を上げることが望ましい。
サービス業	建築設計	日南	日南市、串間市あたりに建築の専門学校か高校に建築科を復活していただきたい。現在の日南市、串間市の建設会社の現場代理人のほとんどが日南工業高校の卒業生です。20代~40代はほとんどいません。これからの県南は数年で建設会社の現場代理人が出来る人がいなくなり建設業者がなりたたなくなると思います。
サービス業	ホテル・ゴルフ	日南	消費向上策を考えてほしい。 可処分所得が向上するような税利改革

建設業	建設業	日南	前回は記入していますが、人口減少への対応が重要と考えます。
小売業	工芸品販売	日南	<ul style="list-style-type: none"> ・兎に角物価の上昇を抑え、収入の上昇等生活の安定を願う ・地球温暖化対策は急務
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(日南～南郷)早期完成に期待したい
卸売業	酒類卸売業	日南	地方再生のアイデアとして、現在うまく機能している仕組みというものがあるか、どれくらいあるか、どんなものがあるか、知る場所と機会が欲しい。
サービス業	タクシー	日南	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少も感じるが外出の機会が少なくなってるからイベント等があると又、市内のにぎわい方で景況が大きく左右される ・どうすれば良いのかわからずにいますが①を充実してうまく配車等回せる様やりたい。「走らせるのが一番」
小売業	百貨店	日南	道路環境整備向上による宮崎市へのストロー現象は、更に加速し対策なし。市民意識が変わらないと厳しいと感じる。
建設業	住宅建築業	串間	2年にわたる公共工事で税金が大きかったが、全体的に個人住宅が多く、請求額が抑えてあるため、徐々に逼迫してくる可能性大である。見積もり契約時期と実際施工時期のずれにより、下老業者の方も値をあげつつある。決算時、インボイス制度により、紙の使用が増えた。

小売業	飲食業	西都	何もかも値上げされる事により、価格見直しをしないとイケないが、前回の値上げから期間がたつておらず、客足が心配である。
建設業	水道工事業	西都	予算を計上する等工事の減少が少しでも緩和されるよう対策して頂きたい。また、人員不足対策として、技術者等の兼任に関する制限等を緩和して頂きたい。
サービス業	自動車整備業	西都	OBD装置の検査が義務化される中で、検査に必要な機械等の導入費用の補助を検討してもらいたい。
小売業	石油販売業	西都	色々な物価は上昇の傾向、しかしながら時間短縮(労働時間)での生産性向上は認められない。給料時間給のアップが進むにつれて経営陣としては、大きな痛手となっている。福利厚生アップ経費アップと今後働かなくなりつつある労働者(休日増)どう経営者は対応していく事となるのか？土木建設建築他あらゆる分野で人員確保も大きな課題である。国・県はどう対応してくれるのか要望は多すぎて書ききれない。
製造業	食品製造販売業	西都	小売業全体がインバウンドに頼りすぎと感じています。もっと自社の強みや方向性を本当の意味で見つけ出し、その強みを生かしていく努力が必要なのかと思います。その上で経営の多角化を考え、地域一丸となって取り組みれば面白味が出てくるのではと考えます。
サービス業	自動車整備業	西都	消費税減税！！
小売業	調剤・医薬品販売	西都	国は人件費(給料)を上げるように言っているが、売上が減少傾向なので矛盾している。もっと地方や小売業(小企業)の景気浮揚を考えてほしい。